

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[互換性](#)

[SDK インストール](#)

[SCCS 4.0](#)

[SCCS 5.0](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Nortel Symposium および ICM Peripheral Gateway (PG) をインストールする場合に、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 環境で Nortel 提供の Software Development Toolkit (SDK) をインストールするために必要な手順の概要について説明します。ICM PG ソフトウェアが現在インストールされていることを前提としています。PG のソフトウェアのインストールについては、Contact Center ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

前提条件

要件

この設定を試みる前に、これらの必要条件について詳しく知っています確認して下さい:

- Cisco ICM の基本的な理解
- PG インストールおよび設定
- Symposium Call Center Server (SCCS) の基本的な理解
- Regedt32
- Nortel 気力 (パッチ) および発注の習熟度

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM バージョン 4.1.5 と それ以降
- SCCS バージョン 4.01.07、4.02、および 5.0

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

互換性

シンポジウム 4.0 からシンポジウム 4.2 をサポートするためにシンポジウム PG のこれらの ICM ソフトウェア リリースの 1 つがなければなりません:

- ICM 4.1、サービス リリースの有無 5 (SR5)、HF 239
- ICM 4.5、サービス リリースの有無 1 (SR1)、HF 64
- ICM 4.6、サービス リリースの有無 1 (SR1)、HF 127
- ICM 4.6、サービス リリースの有無 2 (SR2)、HF 45

Host Data Exchange (HDX) 5.0 ツールキットおよび Real Time Display (RTD) 3.0 ツールキットをインストールして下さいシンポジウム PG のこれらの ICM ソフトウェア リリースの 1 つがシンポジウム 5.0 をサポートするためにあります:

- ICM 4.6.2、サービス リリースの有無 4 (SR4)、ES 1
- ICM 5.0、サービス リリースの有無 8 (SR8)、ES 19
- ICM 6.0、サービス リリースの有無 1 (SR1)、ES 25

SDK インストール

SCCS 4.0

PG でインストールされるシンポジウム RTD とおよび HDX サービス、Nortel 提供 DLL および実行可能なファイル必要通信する Cisco ICM PG のため。これらの DLL ファイルおよび実行はインストールされなくて非活動的な Peripheral Interface Manager (PIM) という結果に終る SDK の一部です。


注 SDK は PEP (パッチ) として Nortel によって実装されます。Nortel Web サイトからパッチを発注するか、またはダウンロードできます。注文情報に関しては Nortel 担当者に連絡して下さい。

Cisco ICM 環境の SDK のインストールにおける手順は下記のものを含んでいます:

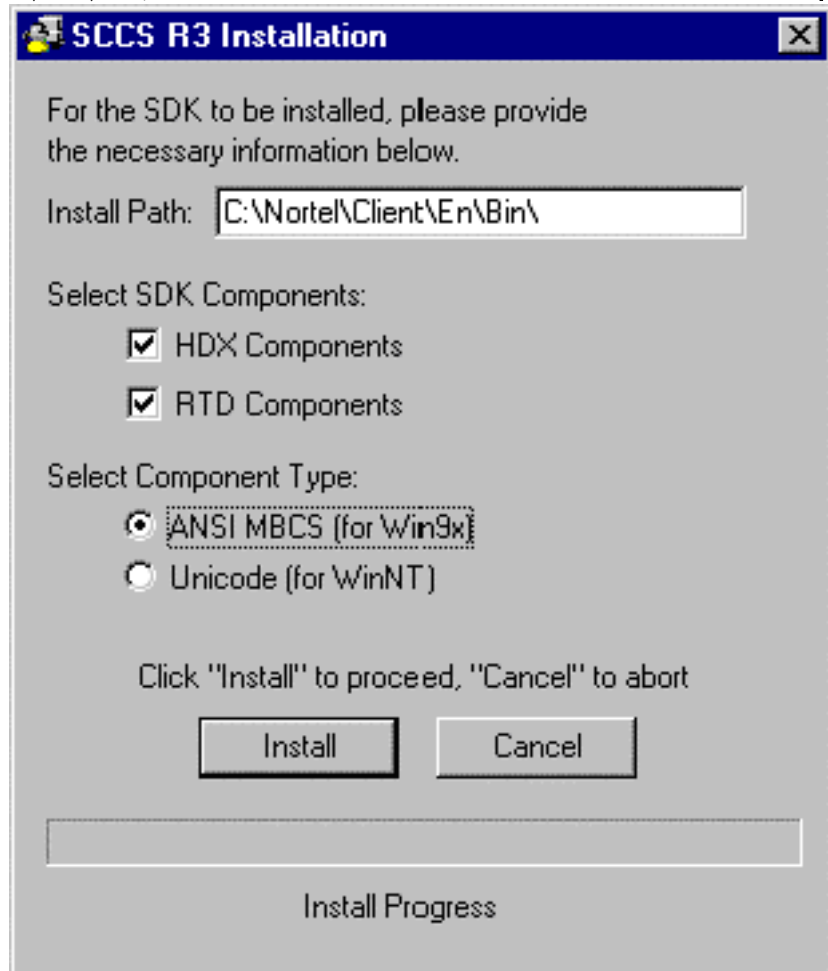
- [SDK をインストールして下さい](#)
- [c:\icr\bin に Nortel ファイルをコピーして下さい](#)か。推奨される SR か ES との ICM バージョン 4.6.2、5 および 6 のために必要とされなくて。
- [lcr connecting GeoTel ICR 接続 レジストリキーを修正して下さい](#)か。か。推奨される SR か ES との ICM バージョン 4.6.2、5 および 6 のために必要とされなくて。

SDK をインストールして下さい

SDK をインストールするためにこれらのステップを完了して下さい:

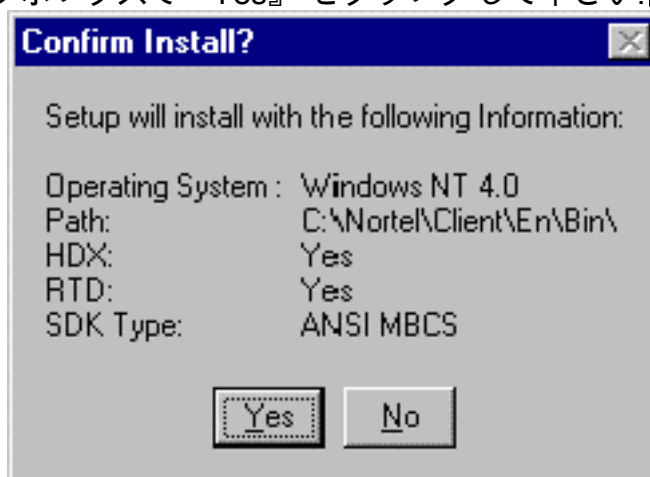
1. サービスがオンになっている場合 PG の Cisco ICM サービスを停止するのに [ICM Service Control ウィンドウ](#)を使用して下さい。図 1 か。ICM サービス 制御 

2. Nortel 提供 CD を挿入して下さい。
3. Run ダイアログボックスを表示するためにタスク バーから Start > Run の順に選択して下さい。
4. SCCS R3 Installation ダイアログボックスを表示するために **d:\licmsdk\Setup** を入力して下さい。注ステップ 4 コマンドの文字 **d** は CD ドライブを表します。CD ドライブが別のドライブレターと分類される場合、コマンドのシステムに適切な文字を代わりにして下さい。
5. HDX および RTD 両方コンポーネントを選択するのに、Select SDK Components セクションの下で、SCCS R3 Installation ダイアログボックスを使用して下さい ([図を 2](#)) 参照して下さい。注 c:\Nortel\Client\En\Bin\ のデフォルトでインストール パスを残して下さい [図 2](#)

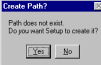


か。SCCS R3 インストール

6. [Install] をクリックします。
7. Confirm Install ダイアログボックスで『Yes』をクリックして下さい: [図 3](#) か。インストー

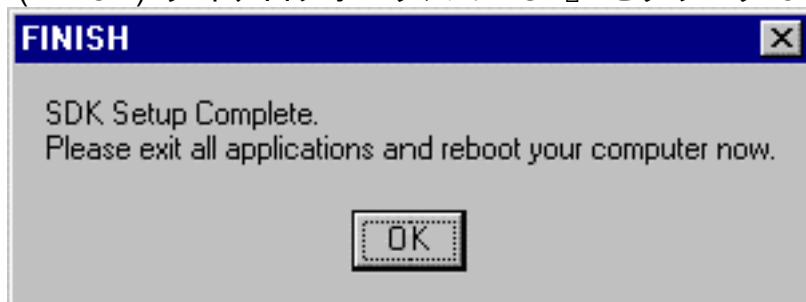


ルを確認して下さいか。

8. Create Path ダイアログボックスで『Yes』をクリックして下さい: [図 4](#) か。パスを作成して下さいか。  この時点で、インストール プロセスは c:\Nortel\Client\En\Bin ディレ

クトリを作成します。DLL ファイルおよび実行はこのディレクトリにコピーされます。

9. (Finish) ダイアログボックスで『OK』をクリックして下さい:図 5 か。完了



10. マシンをリブートします。SCCS バージョン 4.2 に関しては、インストールは完了しました。先の SCCS バージョンに関してはより 4.2、[ICM ディレクトリ](#)および[修正するにコピーファイル](#)で [lcr connecting_GeoTel ICR 接続 Registry 鍵](#) セクション ファイルを ICM ディレクトリにコピーし、lcr connecting_GeoTel_ICR 接続 レジストリを修正するのに手順を使用して下さい。

[ICM ディレクトリにファイルをコピーして下さい](#)

注推奨される SR か ES との ICM バージョン 4.6.2、5 および 6 にこのプロシージャが必要となりません。

複数のファイルは Nortel \ \ EN \ に置かれます。この 3 つのファイルはこのディレクトリにとどまる必要があります:

- msvcrt40.dll
- nbcomd.dll
- nbnmsrvc.exe

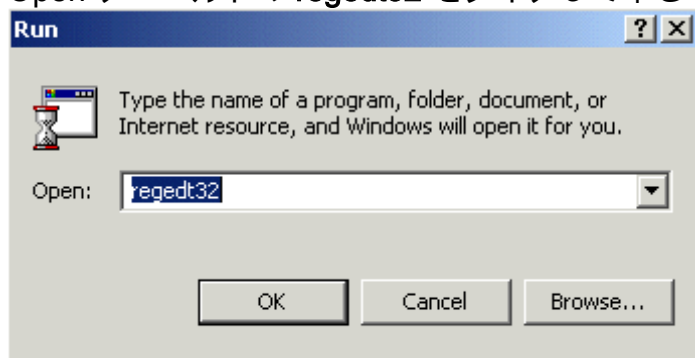
ICR \ に他の DDL ファイルをすべてコピーして下さい; ただし、ICR \ にすべての Nortel \ \ EN \ ファイル コピーすることは有害ではないです。

[lcr connecting_GeoTel ICR 接続 レジストリキーを修正して下さい](#)

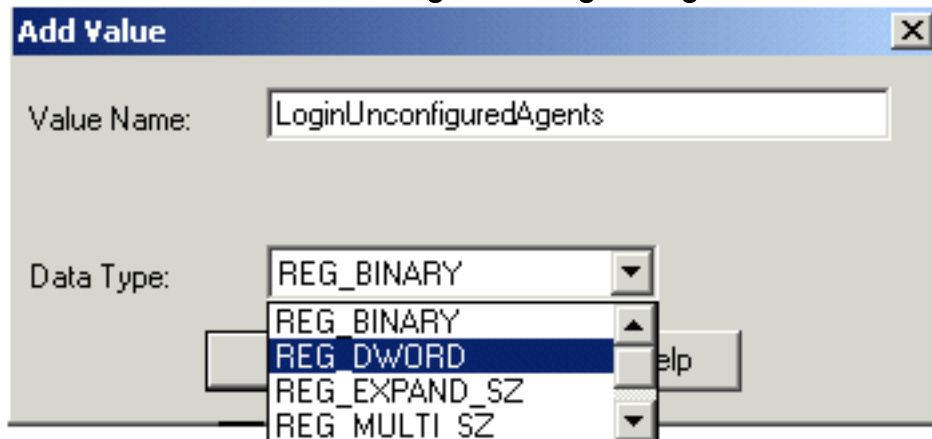
注推奨される SR か ES との ICM バージョン 4.6.2、5 および 6 にこのプロシージャが必要となりません。

lcr connecting_GeoTel_ICR 接続 レジストリキーを修正するためにこれらのステップを完了して下さい:

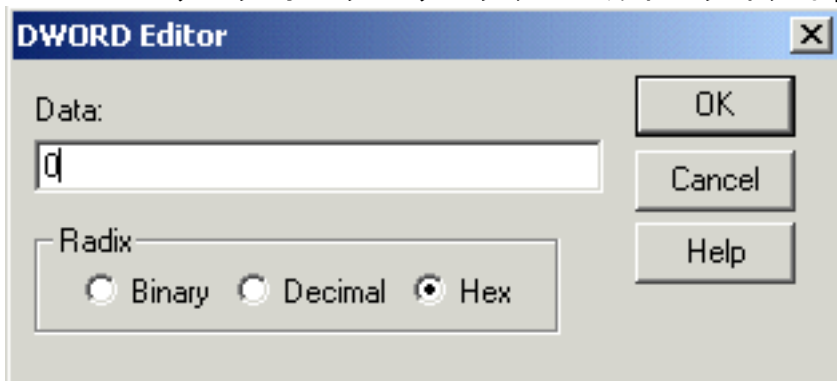
1. Run ダイアログボックスを表示するためにタスク バーから Start > Run の順に選択して下さい。
2. Open フィールドの **regedt32** をタイプして下さい:図 6 : 実行して下さい



- これらのレジストリキーの1つへのドリルダウン: Cisco ICM バージョン 4.6.x および それ以前: Cisco ICM バージョン 5.x および それ以降: 注上記の値はスペース制限による2つの行で表示する。
- 『Dynamic Key』を選択して下さい。
- Add Value ダイアログボックスを表示するために Edit > Add Value の順に選択して下さい ([図を7](#)) 参照して下さい。
- Value Name フィールドの LoginUnconfiguredAgents を入力して下さい: [図7: Add 値](#)



- データタイプから廃棄しますリスト ボックスを『REG_DWORD』を選択して下さい ([図を7](#)) 参照して下さい。
- DWORD エディタ ボックスを表示するために『OK』をクリックして下さい ([図を8](#)) 参照して下さい。
- DWORD エディタ ボックス データフィールドのタイプ 0: [図8: DWORD エディタ](#)



- [OK] をクリックします。
- Regedt32 を閉じて下さい。
- PG の ICM サービスを開始するのに ICM Service Control ウィンドウを使用して下さい。

[SCCS 5.0](#)

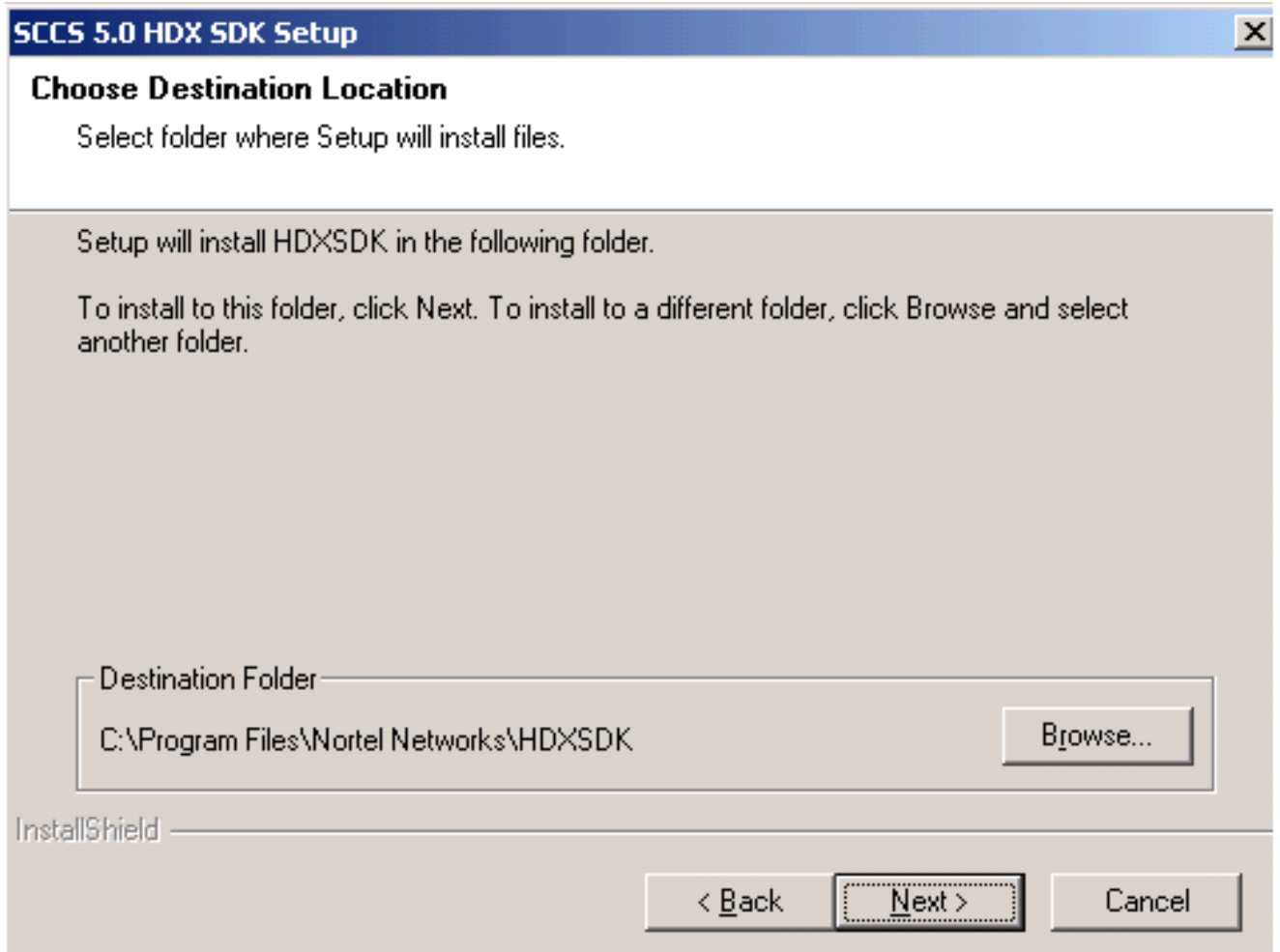
Cisco は HDX 5.0 ツールキットおよび RTD 3.0 ツールキットをインストールするときすべての画面のデフォルト設定を選択することを推奨します。

HDX 5.0 をインストールするためにこれらのステップを完了して下さい:

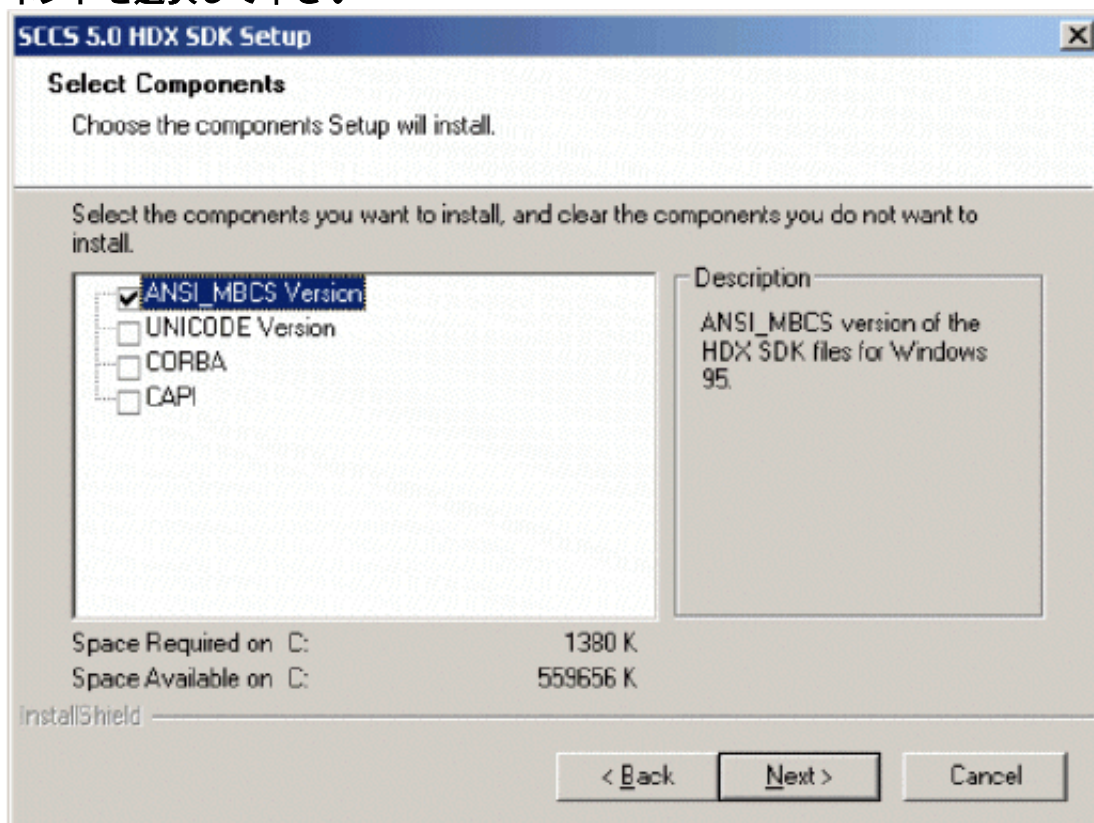
- SCCS 5.0 HDX SDK セットアップ プログラムを実行して下さい。SCCS 5.0 HDX SDK セットアップスクリーンは表示する: [図9](#) か。 **SCCS 5.0 HDX SDK セットアップ**



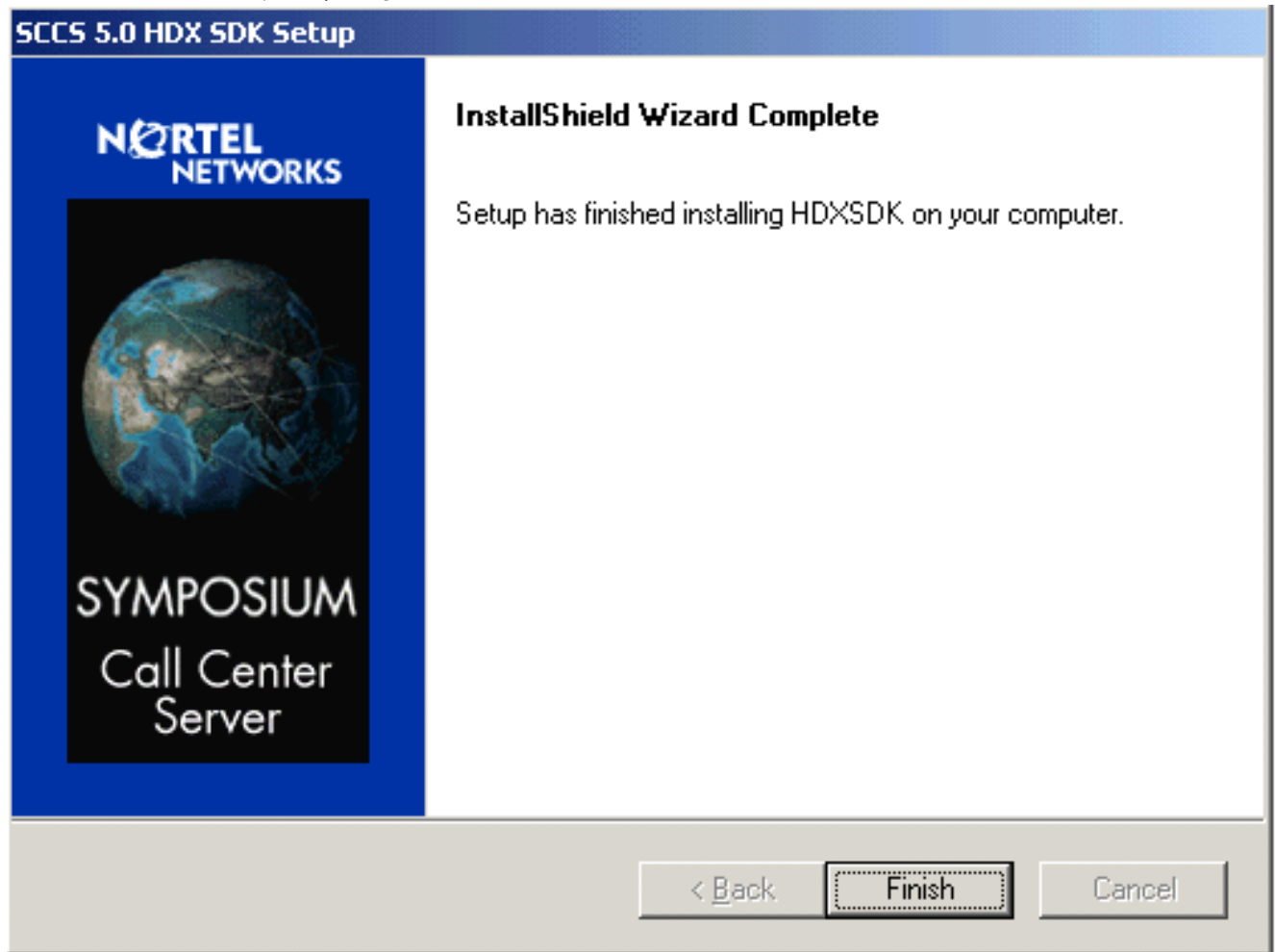
2. [Next] をクリックします。選択宛先の場所 画面は表示する ([図を 10](#)) 参照して下さい。宛先 フォルダは C:\Program Files\Nortel \ HDXSDK です。 [図 10](#) か。宛先の場所を選択して下さい



3. [Next] をクリックします。選定されたコンポーネント画面は表示する: [図 11](#) か。コンポーネントを選択して下さい



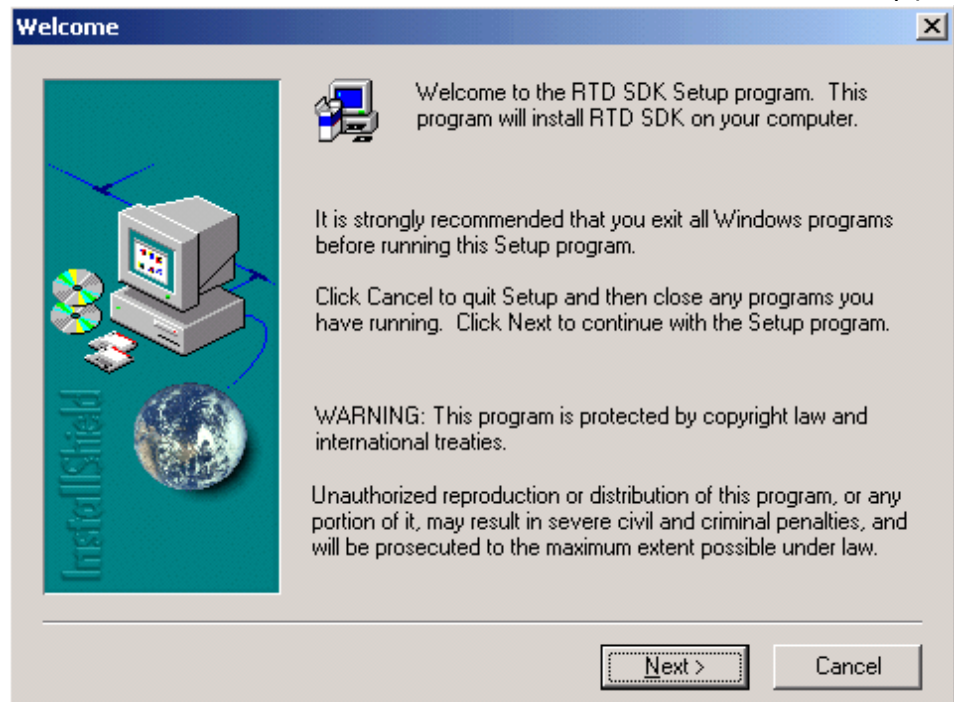
4. [Next] をクリックします。InstallShield ウィザード Complete 画面は表示する:図 12 か。完全な InstallShield ウィザード



[RTD 3.0 ツールキットをインストールして下さい](#)

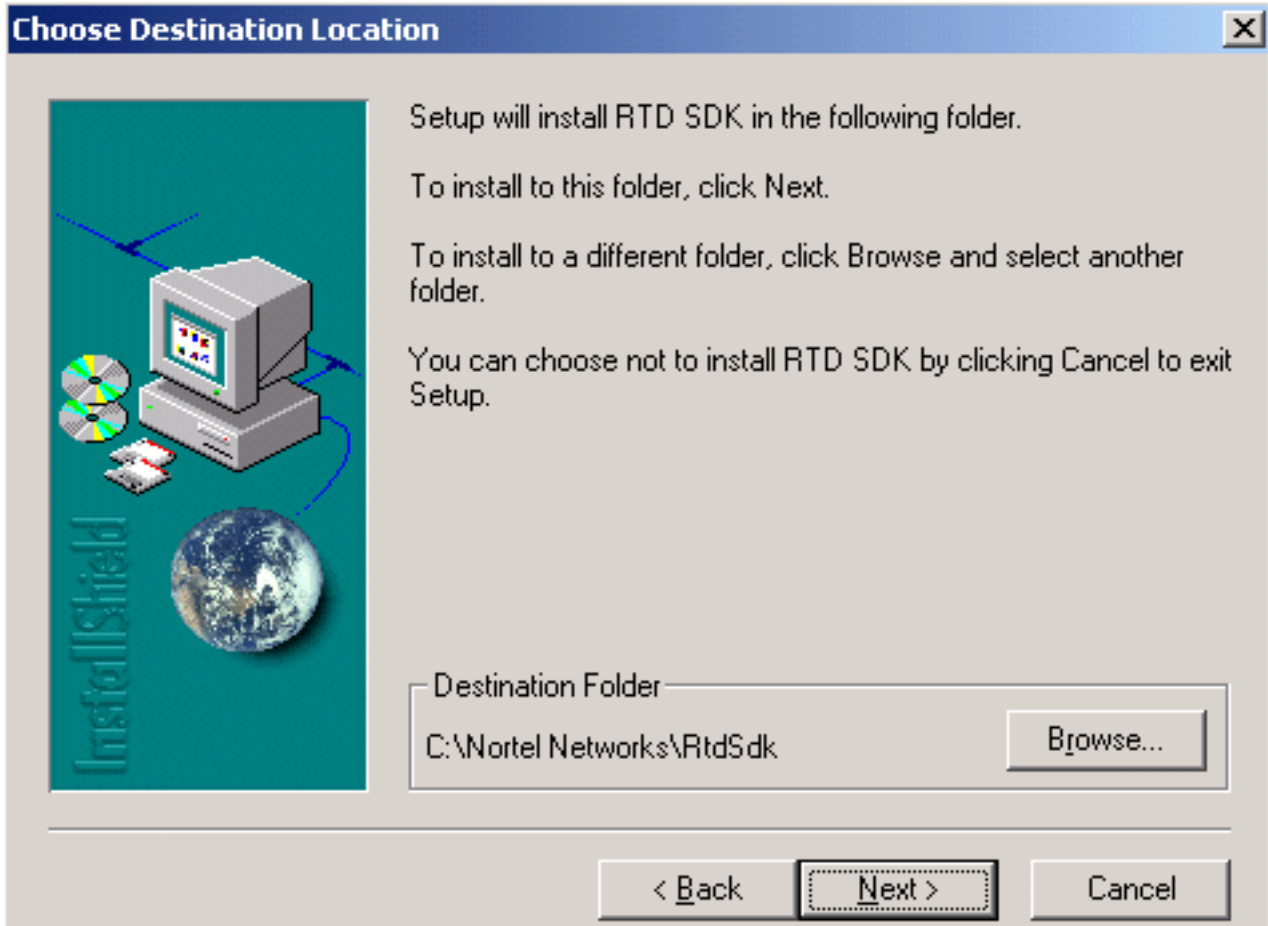
RTD 3.0 ツールキットをインストールするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. SCCS 5.0 RTD SDK 3.0 セットアッププログラムを実行して下さい。Welcome 画面は表示

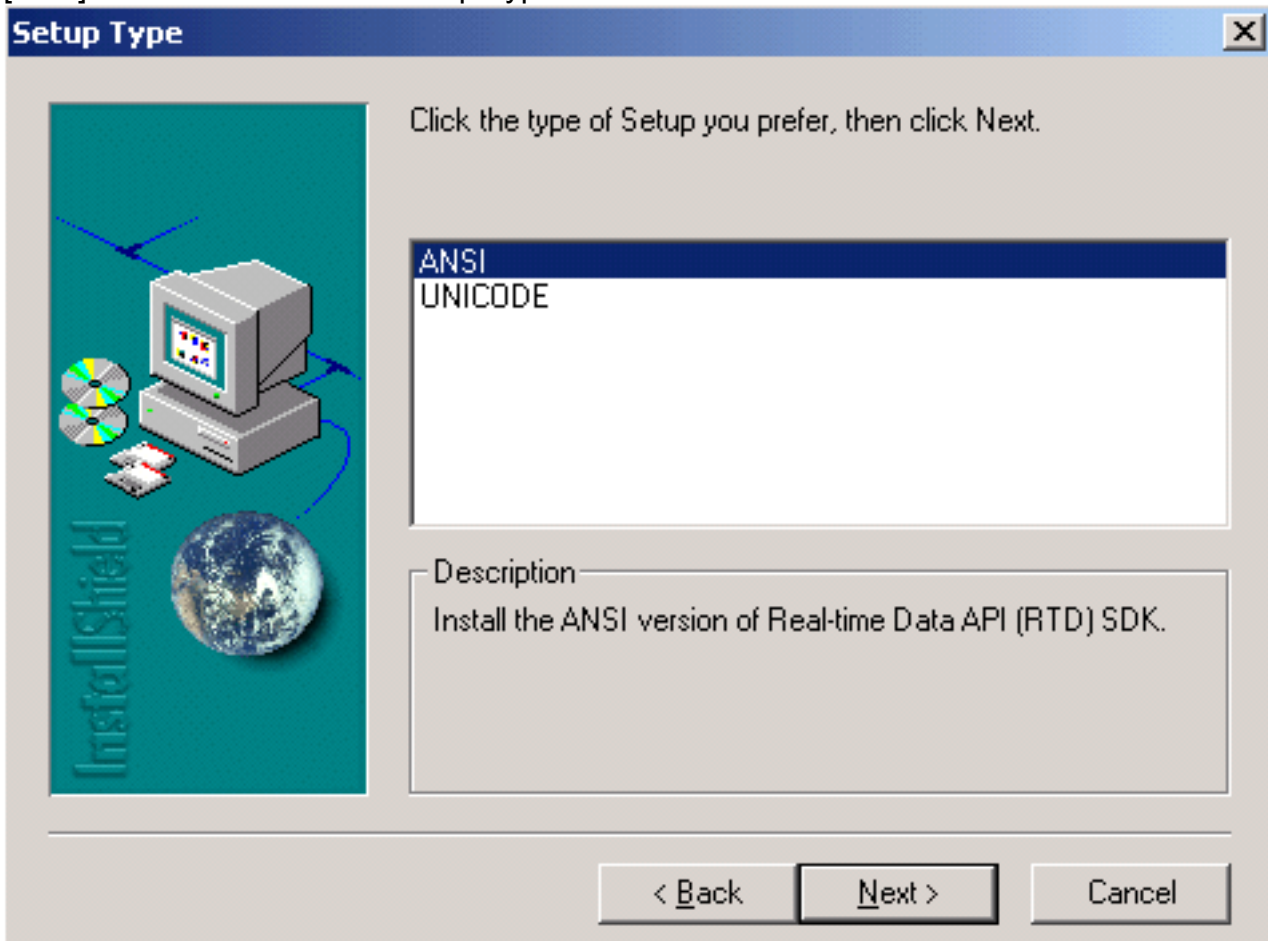



する:図 13 か。 歓迎

2. [Next] をクリックします。選択宛先の場所 画面は表示する (図 14 参照して下さい)。宛先 フォルダは C:\Nortel Networks\RtdSdk です。図 14 か。宛先の場所を選択して下さい



3. [Next] をクリックします。Setup Type 画面は表示する:図 15 か。セットアップ型



4. [Next] をクリックします。 Setup Complete 画面は表示する:図 16 か。 **完全なセットアップ**

5. Finish をクリックしてインストールを完了します。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)